

■日本ナレッジ・マネジメント学会第16回年次大会の写真集

作成:松本 優

2013年3月9日 於: 國學院大學渋谷キャンパス 常磐松ホール&120周年記念1号館 1102教室
テーマ:『歴史に学ぶ知と企業の社会貢献』



(國學院大學渋谷キャンパス) (常磐松ホールのある学術メディアセンター) (1102教室のある120周年記念1号館)

◆開会行事



(開会行事の司会 久米 克彦専務理事)



(大会委員長 秦 信行 國學院大學教授挨拶)



(森田理事長の代理で 高梨 智弘 副理事長挨拶)



(基調講演、特別講演の司会 大西 幹弘理事)

◆基調講演

「先人の叡智に何を学ぶか-歴史記録にみる貞観地震と日本の社会」
岡田 莊司 氏(國學院大學 神道文化学部教授)



(岡田 莊司 氏) ●日本人は不幸な出来事は忘れたがる、貞観の地震の記録はあるのに教訓を活かし切れてないと。

◆特別講演 『伊勢神宮の式年遷宮に学ぶこと-〈常若〉の理念を社会に活かす』
報告1.「神宮の式年遷宮の概況と〈常若〉の理念」
稲 貴夫 氏(神社本廳 本宗奉賛部長・伊勢神宮式年遷宮広報本部事務局長)



(稲 貴夫 氏) ●式年遷宮がなぜ行われるか?多様な知識や技術の伝承のための1300年前の人の叡智を見せて頂いた。

報告2.「〈常若〉の理念を写し撮る」 稲田 美織 氏(写真家、エッセイスト)



(稲田 美織 氏)、 ●前半はニューヨーク在住の時9.11の惨状を目撃し感じるところあり、ご自身で世界各地の聖地を巡って撮られた聖地とそこに生きる人たちの数々の写真、後半は神宮の常若関連の貴重な写真をたっぷり見せていただいた。

◆会員総会



●午後一番の会員総会は小野瀬理事↑司会で、



高梨副理事長より報告があり議案はすべて無事承認されました。

◆研究報告 及び研究部会報告

今年の研究報告(常磐松ホール)と研究部会報告(第2会場 120周年記念1号館 1102教室)に分けて実施された。



(研究報告 1～3 の司会兼コメントーターの植木理事)



(研究報告 4～5.1,5.2 担当の石川理事)

★研究報告1「共通善を目指す企業理念活動」 高山 千弘氏(エーザイ理事知創部長)



(高山 千弘氏)↑

●エーザイの企業理念と、その目指すところは本日のテーマにぴったりの発表でした。



★研究報告2「施策から見る中小企業の社会貢献」
堀田 充徳氏(中小企業基盤整備機構中小企業大学校)



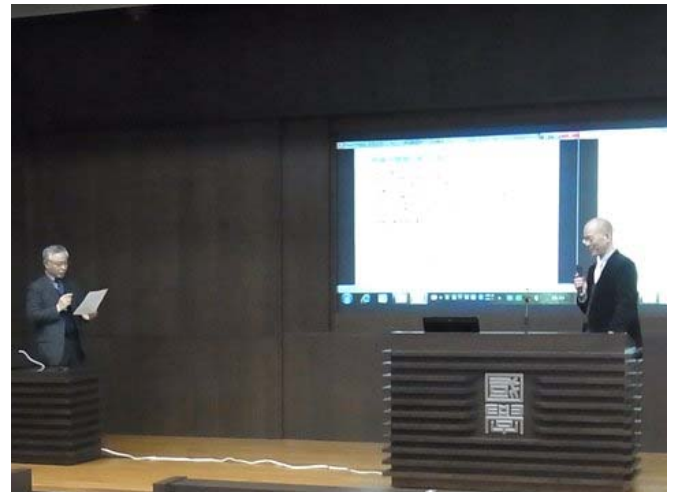
(堀田 充徳氏)



★研究報告3「『知と行動の4行程』モデルによる人材育成モニタリングシステムについて」
安部 博文氏(電気通信大学)



(安部 博文 氏)



(安部氏の発表に質問とコメントをする植木理事)

★研究報告4「日本語の発展と日本的経営」
八代 英美氏(IMSコンサルティング)



(八代 英美 氏)



(コメントする石川理事)

★研究報告5『企業の持続可能性を社会に伝え共有する統合報告』

☆「国際統合報告協議会の活動とWICIの役割」

三代 まり子氏(国際統合報告協議会テクニカルマネジャー)



(三代 まり子 氏)



(公認会計士大先輩の高梨副理事長からの質問とコメント)

☆「ベンチャービジネスに求められる統合報告」

瀧口 匡氏(ウエルインベストメント 代表取締役社長)



(瀧口 匡氏)



(この2つの発表に統合報告書のフレームワークづくりに深くかかわった花堂専務理事(写真)がコメントと解説を行った)



●第一会場の常磐松ホールのある情報メディアセンターから道路を渡り正門を入った右側に神殿があり、天照皇大御神(天照大御神)を始め八百万(やおよろず)の神々をお祀りしています。國學院大學はキャンパス内に神殿を持つ唯一の大学です。

◆研究部会報告 第2会場の様子

こちらの会場は研究部会の報告で前半を澤谷理事、後半4.5.を小野瀬理事が司会とコメントを担当した。

★研究報告1「トランコムの研究」 西浦 道明 氏((株)アタックス代表取締役)



(西浦道明氏)



(丁々発止の質疑応答の様子)

★研究報告2「道(do)から学ぶ日本の強み」 小野瀬 由一 氏(VERSTA 専務理事)



(小野瀬 由一 氏)



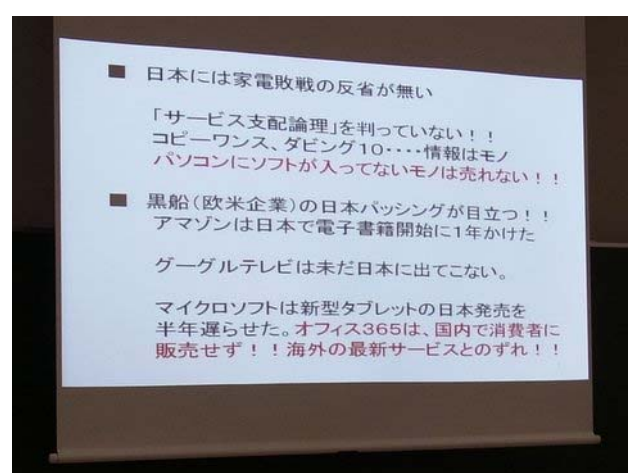
(小野瀬理事は第2会場後半の司会も担当)

★研究報告3「歴史の転換点を迎えたスマート革命とサービス支配論理」

山崎 秀夫氏(日本ナレッジ・マネジメント学会専務理事)



(山崎 秀夫 氏)



●日本には家電敗戦の反省がない。サービス支配の論理を判っていないと怒るやら嘆くやら、警鐘を鳴らしていた。



●以下の写真、皆さんの手の動きにご注目ください



(第2会場の全体の様子)

★研究報告4「女性のキャリアを豊かに-組織に多様な成長へ」
澤谷 みち子 氏(一般社団法人ウイメンズメンターバンク代表理事)



(澤谷 みち子氏)



●澤谷さんをロールモデルとして目標とする女性も多く女性の質問・聴講者も多かった



●質疑応答もジェスチャーたっぷり、聞く方も答える方も手の動きに注目、熱が入っていますね



★研究報告5「組織認識論部会報告」 筒井 万理子 氏(近畿大学経営学部准教授)



(筒井 万理子 氏) ●ほんわかした大阪弁と絶妙の間の取り方で楽しく且説得力ある素晴らしい発表に会場は魅了されました



●発表の中で紹介された事例の載っている自著の本の紹介(推薦者:松本 優)
「医薬品普及の知識マネジメント」筒井万理子 著、白桃書房:2011年03月26日発行、A5判 188頁
定価:2,940円(本体:2,800円)、ISBN:978-4-561-26562-7

◆閉会行事 今後の活動計画発表と閉会の挨拶

午後の最初の行事として行われた会員総会で承認された、新副理事長の久米 克彦 氏より今後の計画(TKF ロシアの案内等)の発表が行われたのち、閉会の挨拶が行われ大会は終了した。



(久米 克彦 新副理事長)

ご参加の皆様
お疲れ様でした

◆懇親会の様子

大会終了後、場所を“カフェラウンジ若木が丘”に移して懇親会を実施しました



(高梨副理事長挨拶)



(大妻女子大学 花村 邦昭 理事長の乾杯！)

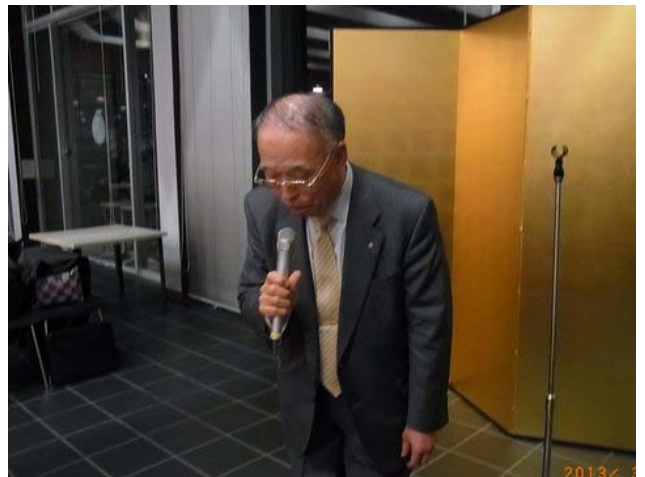


以下歓談タイム



(ご講演頂いた稲田 美織様(右)もご参加頂けました
ありがとうございました。)





●久米副理事長の締めの挨拶で終わりました。

——おまけの写真——



●これは先の進 博夫氏の報告の冒頭にもありました、開会の頃、朝の陽光に照らされ常磐松ホールの大いなるガラス窓のブラインド越しに映ったまるで墨絵のような神秘の世界の趣、この中で伊勢神宮式年遷宮のお話がありました。ひょっとして学内の神殿にお祀りしている天照大御神か或いは八百万の神の中の好奇心旺盛な「知の神様」が覗いておられたのかもしれないね。いや、天照大御神は恐れ多いので、他の神様なら立木樹(たちぎき≒立聞き)のほうがいいですね。(.)

★尚写真撮影についてはメイン会場と第2会場が大変離れており道路を2本渡り7分ぐらいかかり大変でした。そこで一部並行して、澤谷さん、安部さん、植木先生、植木真理子さんにも撮っていただきご提供いただきました。ご協力ありがとうございました。

★常若の理念についてよくわかる Web 上の参考文献:

http://trendy.nikkeibp.co.jp/lc/eco_yano/081003_tokowaka/index.html